

製品名: RPA40 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17338**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR1C
別名	POLR1C; POLR1E; DNA-directed RNA polymerases I and III subunit RPAC1; DNA-directed RNA polymerase I subunit C; RNA polymerases I and III subunit AC1; AC40; DNA-directed RNA polymerases I and III 40 kDa polypeptide; RPA40; RPA39; RPC40
遺伝子 ID	9533.0
SwissProt ID	O15160
免疫原	抗血清はヒト POLR1C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

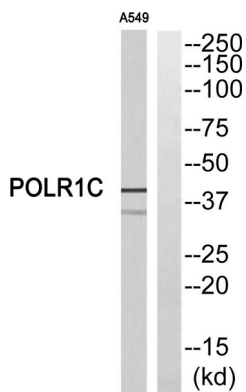
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA ポリメラーゼ I 複合体と RNA ポリメラーゼ III 複合体の両方のサブユニットです。コードされるタンパク質は Pol コアエレメントの一部です。この遺伝子の変異は、トリーチャー・コリンズ症候群 (TCS) および低髄鞘形成性白質ジストロフィー 11 型と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]、機能: DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4 つのリボヌクレオチド三リン酸を基質として、DNA から RNA への転写を触媒します。リボソーム RNA 前駆体と 5S rRNA、tRNA などの低分子 RNA をそれぞれ合成する RNA ポリメラーゼ I と III の共通構成要素です。RPAC1 は、中央の大きな溝を持つ Pol コア要素の一部であり、おそらく溝を開閉するために移動するクランプ要素です。類似性: 古細菌 rpoD/真核生物 RPB3 RNA ポリメラーゼ サブユニット ファミリーに属します。サブユニット: RNA ポリメラーゼ I (Pol I) および RNA ポリメラーゼ III (Pol III) 複合体の構成要素で、それぞれ少なくとも 13 個と 17 個のサブユニットから構成されます。、

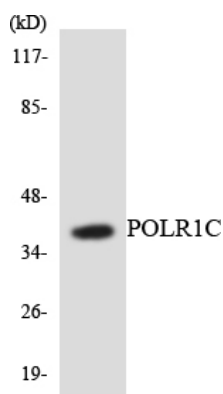
研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNA ポリメラーゼ、細胞質 DNA 感知経路

画像データ



POLR1C 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは POLR1C ペプチドでブロッキングされている。



POLR1C 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。